

# H21年漁期のあかいか（ソデイカ）漁業について

今漁期(H21年漁期)のあかいか(ソデイカ)漁業について取りまとめましたのでお知らせします。

## 1 平成21年漁期の漁況

### 【兵庫県下各漁協(支所)の漁獲】

平成21年(2009年)の漁獲量(速報値)は、津居山港35.0ト(2008年は32.3ト)、竹野浜37.3ト(同35.6ト)、柴山港30.2ト(同26.3ト)、香住町99.6ト(同94.9ト)、浜坂町45.1ト(同39.6ト)、**合計247.2ト**(同228.8ト)となり、**前年とほぼ同様～やや上回る(×109%)**水揚げとなりました。

## 2 価格の推移

最近5か年の月別単価の推移を示したのが右のグラフです。例年、8～9月は単価が高く、10～11月に徐々に低下する傾向にありますが、今漁期は8月の単価(1kgあたり)が740円であったものの、9～11月には480～530円と、近年の中では最も低調に推移しました。

そのため、漁獲量では前年を上回ったものの、県下全域の漁獲金額(速報値)は、合計約1億3,160万円で、**前年比約99%**となりました。

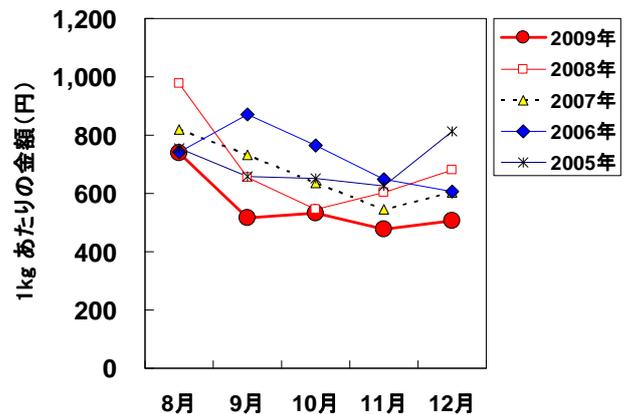


図1 あかいか平均単価の推移(但馬全体)

## 3 漁況予報の結果(的中したかどうか)

当センターでは、毎年7月に「あかいか(ソデイカ)長期漁況予報(予報期間:9～11月)」、10月に「中短期予報(漁況経過と漁期後半の予報)」を公表しています。予報とその結果については以下のとおりでした。

### 【長期予報(7月21日発表)】

①**来遊水準**:「昨年と比べ『やや少なめ』～『ほぼ同様』の漁獲が見込まれる」と予報

結果:→ **△:漁獲量はほぼ前年同様～やや上回る結果となりました。**

②**平均漁獲量**:「予報期間中の1日1隻あたりの漁獲量はおおよそ100kg前後となる見込み」と予報

結果:→ **△:「121kg」と予報の範囲をやや上回る結果となりました。これは、漁期の初めから1日1隻あたり150kg近い漁獲があり、100～150kgの漁獲が11月中旬まで続いたためです(詳細は図2をご覧ください)。**

③**漁場**:「山陰・若狭沖冷水の張り出しは弱く、漁場は沖側まで広がる見込み」と予報

結果:→ **○:但馬沖の漁場(沿岸～北緯36°付近)は概ね暖水域の範囲にあり、好漁場となっていました。**

### 【中短期予報(10月5日発表)】

①**漁獲物**:「今後しばらくは、現在の群(胴長55cm前後)が成長しながら漁獲の主体となる。」と予報

結果:→ **○:11月上旬まで、この群が主体となり、好調な漁獲が続きました。(詳細は図3をご参照ください)。**

②**漁場**:「冷水域は、但馬沿岸域(～36°N以南)に張り出す可能性は小さい。」と予報

結果:→ **○:漁期後半も、但馬沖は暖水域の範囲にありました。ただし、好漁場の範囲はやや沖合にまで拡大しました。**

**\* 今後も、より精度の高い漁況予測を発表していく予定です。引き続きご協力のほどお願いいたします。**

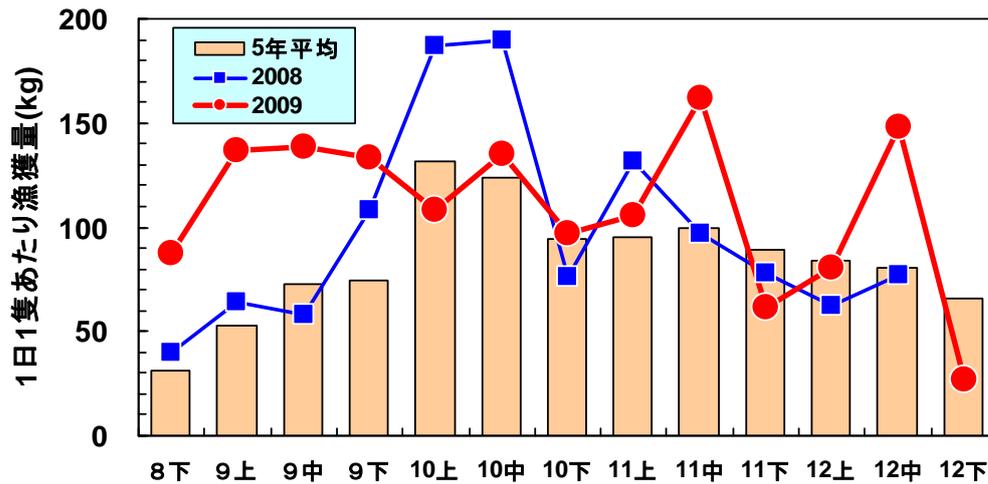


図2 来遊量指標(但馬漁協香住支所の1日1隻あたり平均漁獲量)の旬別推移

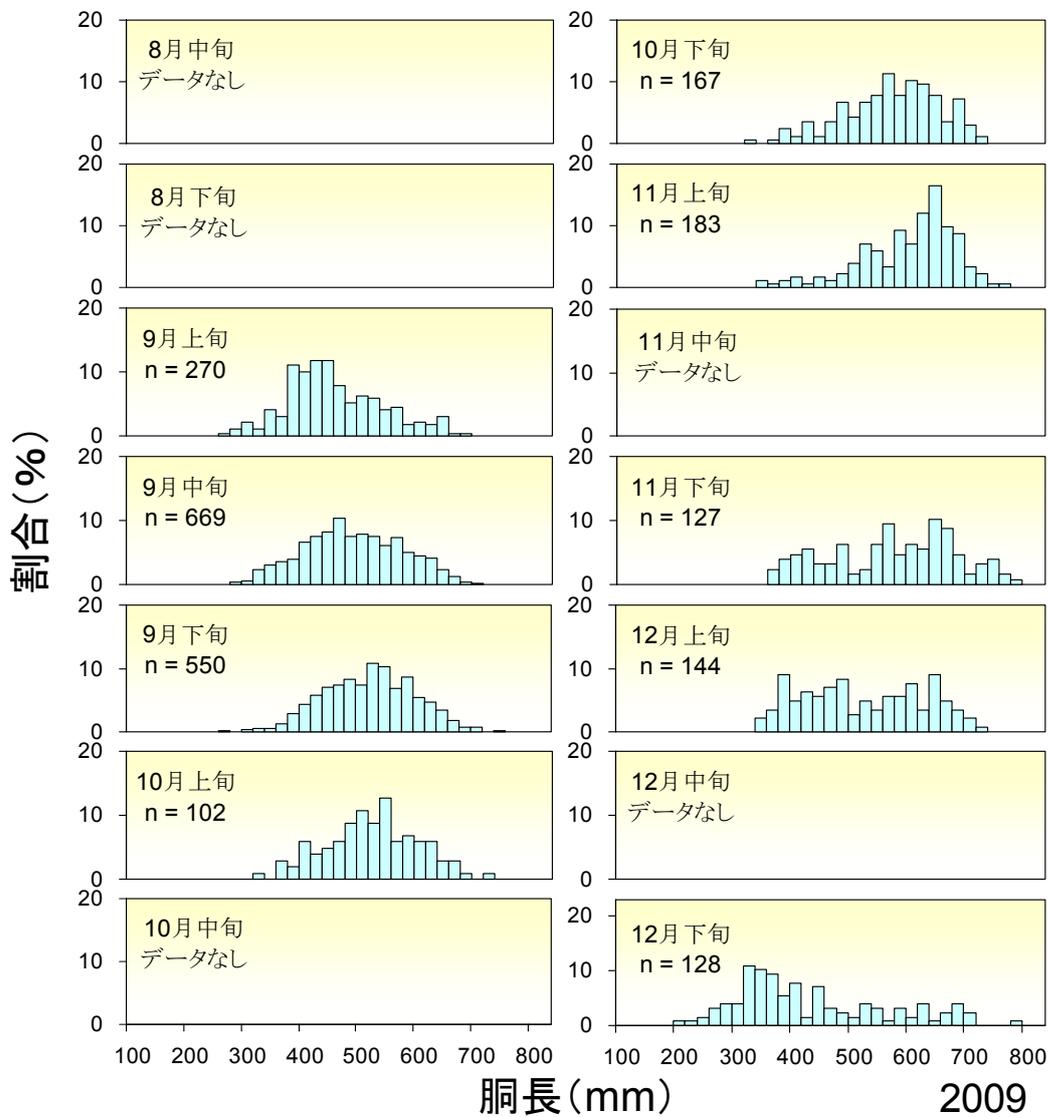


図3 JF 但馬漁協香住支所に水揚げされたあかいか(ソデイカ)の体長組成

\* nはその旬に測定したイカの数を示します。

\* なお、胴の長さを体重に換算すると、概ね次のとおりとなります。

300mm=1.0kg、400mm=2.4kg、500mm=4.7kg、600mm=8.0kg、700mm=12.7kg、800mm=19.0kg